

第5回庄原市行政評価委員会 会議録（摘録）

1. 開催日時 平成29年10月31日（火）
開 会：13時30分
閉 会：16時00分
2. 開催場所 庄原市役所 5階 第3委員会室
3. 出席委員 石川芳秀 委員（委員長） ・ 清水孝清 委員
若林隆志 委員 ・ 齋藤万由美 委員
檀上理恵 委員 ・ 水戸美代子 委員
4. 欠席委員 荒木和美 委員
5. 出席職員 生活福祉部 市民生活課 市民生活係 係長 亀山慎也
生活福祉部 市民生活課 市民生活係 主任主事 吉岡賢治
企画振興部 商工観光課 課長 宮崎孝記
企画振興部 商工観光課 商工振興係 係長 柳生圭紀
企画振興部 商工観光課 にぎわい観光係 主任主事 武田悠作
総務部 行政管理課 課長 山根啓荘
総務部 行政管理課 行政管理係 係長 下森一克
総務部 行政管理課 行政管理係 主任主事 川島球花
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

第5回庄原市行政評価委員会次第

平成29年10月31日(火) 13:30から
庄原市役所 5階第3委員会室

1. 開 会

2. 委員長あいさつ

3. 総括意見の集約

(1) 森林資源活用事業(木質ペレット等利用促進補助金) 資料1

(2) 配合飼料利用支援事業補助金 資料2

4. 評価意見の検討

(1) 消費生活相談員設置事業 資料3 ~ 資料4

(2) 光のまち庄原実行委員会補助金 資料5 ~ 資料6

(3) 備北観光ネットワーク協議会負担金 資料7 ~ 資料8

5. その他

6. 閉 会

会 議 経 過

1. 開 会

2. 委員長あいさつ

今回で5回を数え、みなさん慣れた感じのことと思います。本日は快晴のもとで開催させていただきます。ご多用の中ではございますが、今回も十分にご意見をいただきながら進行して参りたいと考えておりますので、みなさんよろしくお願ひします。

3. 総括意見の集約

(1) 森林資源活用事業（木質ペレット等利用促進補助金） 資料 1

総括意見

評価：終了

申請件数や、その内訳にあるペレットストーブの件数、本市の現在のペレット関連の事業環境では、市内の森林資源活用を目的とする本事業の効果は少ないため、事業は終了とする。

ただし、ペレットストーブや薪ストーブは、特に移住者に対して、本市の豊富な森林資源を活かした生活スタイルをアピールする効果もある。森林資源の活用について、新たな魅力を生み出すような取り組みを検討されたい。

(2) 配合飼料利用支援事業補助金 資料 2

総括意見

評価：その他の見直し

飼料価格の急騰により、緊急的に導入された補助金であり、実施から8年経過した現在、乳価（プール乳価）が上昇していること、酪農家の自助努力もあり、市内酪農家1戸あたりの飼養頭数が最も多い30～50頭規模の平均値では、農業所得の向上がみられることから、現在の酪農家のニーズに沿った支援となっているか、酪農家の意見も参考に、事業の見直しをされたい。

なお、県内最大規模を誇る酪農は、当地域を代表する産業のひとつであり、小規模・大規模、どちらの酪農家にとっても、持続して経営していけるような支援は必要であるとする。本事業の見直し、事業終了を検討する場合は、小規模酪農家への配慮や国・県補助金を活用した酪農家のニーズに沿った基盤強化を促す他の支援も検討されたい。

4. 評価意見の検討

(1) 消費生活相談員設置事業 資料 3 ～ 資料 4

－ 事務局より資料3～4について説明 －

【①現行どおり】の意見

評価シート記載意見

近年、高齢者だけでなく詐欺まがいの勧誘とか悪質なネット通販が増えている中で、安心して相談できる相談員の設置は必要であり現行どおりが適当と思う。ただ、本当に必要な方はなかなか相談に来られないのではと思うので、気軽に外向いていける体制を検討してほしい。

委員：現在、本庁の市民生活課内に事務所があるとのことで、市民感覚からすれば入りにくいところではないかと思うので、時間を決めて個室に行くなどの配慮も必要ではないか。このような騙された等の相談は、恥ずかしいとの部分もあると思う。

【②現行どおり】の意見

評価シート記載意見

昨今、消費生活に関しては多様化・複雑化し、勧誘等も巧妙化する中で、相談員の役割は大きく、今後もより必要となると思われる。今後もより相談しやすい体制やPRに努め、市民の相談に対応願いたい。そうした中で、平成28年度の相談内容を見ると市の事業に起因する内容もあり、市のより丁寧な説明が必要と思われる。

委員：説明では、市が行っている光通信網整備に関する相談がかなり多いようなので、事前の丁寧な説明により、相談に至る前に解消できればと思う。

【④現行どおり】の意見

評価シート記載意見

実績・成果により、市民の安心、安全を守る重要な事業であると思います。昨今の状況からみて、今後増々悪徳商法や新卒のトラブル発生が予測され、今後も継続する必要があると思います。市民にとって、頼りになるありがたい事業であると思います。(約3割の未解決問題が気になります)

委員：道筋はついていますが、約3割の未解決問題が気になります。

【⑤現行どおり】の意見

評価シート記載意見

地域の高齢化や単身世帯化、その他、家族や地域のつながりが変化していく中、消費生活相談は非常に重要な役割を担っています。生活を支援する福祉、介護関係者や警察等、関係機関との連携も強め、充実をした活動を行っていただきたいと思います。

委員：評価シート記載のとおり。

【⑥現行どおり】の意見

評価シート記載意見

消費形態が多様化している昨今、必要な事業であると考えます。相談した人がどの程度「満足」できる対応がされているのか、詳細は不明ですが、対応のレベルをますます上げていただきたいと思います。

委員：評価シート記載のとおり。

【⑦現行どおり】の意見

評価シート記載意見

市民が安心な生活を営むうえで、大変有益な事業と思います。市民への周知を今以上にわかりやすく工夫されると思います。

委員：評価シート記載のとおり。

【③その他の見直し】の意見

評価シート記載意見

消費生活相談員設置規則、第6条年次有給休暇及び特別休暇規定に関しては不要であると考えます。また、相談員2名によるローテーションでの対応状況は1名程度は増員しても可と考えます。

委員：昨今、家庭や仕事形態の多様化から2名体制の場合、2名とも休んだ場合も考えられるので、

できれば、3名から4名を確保し、常に誰かが受付できる体制が必要であり、有給を取っているか、取っていないかが大切ではなくて、確実に常に受付が可能な体制整備を望むものである。

－総括意見－

委員長：総括意見としては、「現行どおり」とする。

(2) 光のまち庄原実行委員会補助金 資料7 ～ 資料8

－ 事務局より資料7～8について説明 －

【②縮小】の意見

評価シート記載意見

以前に比べイルミネーションへの関心が低くなってきたよう思える。そうした中で、街中の点灯箇所を少なくしより効率的にしていくことが必要と思える。

委員：評価シート記載のとおり。

【⑤縮小】の意見

評価シート記載意見

まちの活性化やにぎわいの創出等をねらった良い取り組みですが、事業開始から年数も経過しています。現状をよく把握していただき、新しい発想の中で新たな事業を検討されてはいかがでしょうか。評価は「縮小」とさせていただきますが、「終了」も選択肢だと思います。

委員：評価シート記載のとおり。

【①終了】の意見

評価シート記載意見

備北丘陵公園のイルミネーションとのコラボの意義は理解できるが、事業の効果には疑問を持つ。協力事業所の高齢化や照明器具の老朽化があるようなので終了が適当と思う。

委員：評価シート記載のとおり。

【⑥終了】の意見

評価シート記載意見

冬の冷たい空気の中、イルミネーションの明るさがあるに越したことはないが、地域住民の負担になっている事業であれば、継続する必要はないと考えます。今後、庄原市のみならず、人口減・高齢化の避けられない状況の中、縮小・終了せざるを得ない事業が発生するのは仕方ありません。「選択と集中」は不可避です。

委員：貴重な財源であるので、より効果的な事業に集中的に使っていただきたい。ただし、地元地域のみなさんが終了を望んでいるということが前提であり、地域が縮小でも工夫してどうにか継続したいとの思いがあれば、その思いを大事にしていきたい。

【③その他の見直し】の意見

評価シート記載意見

賑わい創出の観点から必要な事業と考えるが、今後継続していくためには費用対効果も分析しながら、協力体制

のあり方等、合わせて検討見直しする必要があると考える。

委員：評価シート記載のとおり。

【④その他の見直し】の意見

評価シート記載意見

まちなかのにぎわい創出・まちなかの魅力向上・商業の活性化という目的が達成できたのか判断し難いです。照明機材等の更新費用、協力者の事業継続が困難等の問題もあり、このままでは継続が難しいと思います。商業者、企業、自治会、商工会との共催事業とするのは無理でしょうか。

委員：評価シート記載のとおり。

【⑦その他の見直し】の意見

評価シート記載意見

丘陵公園のイルミネーションを見たあとに市街地のイルミネーションへの誘導については、実際出来ているとは思えない。又、見て回ったとしても、その時間帯の経済効果は薄いと思います。終了も視野に事業の内容の見直しが必要だと思います。

委員：駐車券については、偶然、飲食店で駐車券をいただいたが、丘陵公園へ行ってみようという気になったので、丘陵公園に対する効果はあるのではないかと思う。

－その他意見－

委員長：多少意見がわかれておりますが、縮小の方向で見直しする理解ではいかがでしょうか。

委員：縮小と意見を提出しているが、現行のままでは無駄とは言えないが、見直しの方向でと思う。終了というのは少し寂しいと考える。

委員：終了と提出しているが、縮小や見直しとあまり変わらない感じである。前回の説明で照明器具の老朽化により継続するには買い換えないといけないとの説明があったと思うが、規模を縮小してでも実施できるのか、器具を刷新しないとできないのかによっても変わってくると思う。

委員：事業というのは、効果がなければスッと切ることも必要ではないかと思う。細々とダラダラと続けていくのはいかがかと考える。他の事業を検討し、本事業はスッと終了がいいと考える。

委員：私も終了を視野に見直しと提出しているので、終了の方がいいと思えるところがあれば、終了もやむを得ないと考える。

委員長：本事業は条件付提案であり、照明器具の老朽化により、買い換えてできればいいが、あえて新しいものに変えて継続するのがいいのかという点もある。

委員：前回の委員会で市役所周りだけでも維持できればという話があったが、そういうことになると市の職員が設置、取り外しをしてでも市役所周りを明るくしようということなのか、そのあたりがわからない部分である。

事務局：観光協会庄原支部の事業として実施しており、それに対する支援を行っている。観光協会庄原支部としても全てをやめてしまうのはいかがかとの思いもある。市役所前通りは継続していきたいと意向も聞いている。

委員：当初の目的が備北丘陵公園のイルミネーションとコラボしてまちなかに誘導するという目的であった。この考え方すると市役所周りだけ明るくしてもこの目的は達成できないのではないか。

市役所周りだけ明るくしたいというのは、一旦、この事業をやめて新しい事業としてやられるのがいいのではないかと考える。

委員長：条件付見直しという表現は適当ではないか。

事務局：条件については、意見欄に付記することとし、評価としては「終了」、「縮小」等の既存の分類の中で評価をいただきたい。

委員長：見直しの意見の委員からは地域との協力が欠かせないとの意見があったと思う。口和とか比和、高野地域の住民がここに協力しましょうということではないので、旧庄原市市街地の近隣の方が賑わいをどうしようかと考え、どう思われているのかが根本であり、そのような方が消極的であれば終了でいいと思うが、我々も物心両方において協力するのでやりましょうということであれば、その他の見直しということになると思うのでどちらか迷う。

委員：冬場の寒い中、この明かりは心和む部分もあり、市役所周りは観光協会から業者委託をしており、地元の手は取っていないということもあるのではないかとと思うので、見直しの中でということも考える。

委員：事業の実施目的からするとこの事業としては、終了せざるを得ないのではないか。

委員：他の地域では、自治振興区活動の中で実施されているところもあり、そういった工夫をし、もう少し知恵を出して効果のある事業をやればいいのではないか。

委員：クラスターのまちづくり事業の一環であり、その目的からすれば終了でいいと思うが、以前は市職員の若手グループでしていたことがあるのではないか。この市役所周りが、今後他の事業でできないかとも考える。

事務局：市職員で行ったというのは記憶にないが、観光協会庄原支部、地元の方も全くなくなるのは寂しいと思われている。ただ、当初の目的からは方向性が変わっている。

委員：観光とか丘陵公園の切り口ではなく、地域の常会単位の活性化で新たなものを作り上げるという発想ではいけないのか。

委員：支所周りでも独自でされており、この地域も補助金頼りでなく、私たちが少し明るくしようという発想で、それはいいことだと観光協会ものって行こうということであればいいが、少しずつ残していこうというのは、もういいのではないか。

委員：高野支所周りは観光協会高野支部がしているのか。

事務局：観光協会高野支部がしている。

委員：地域の人が寄って、点灯式等をしている。

事務局：先ほど新しい事業をとという話が出たが、本評価事業は既に行っている事業を評価するもので、新しい事業をしてくださいというのは評価になじまない。

－総括意見－

委員長：「終了」とするのが適当と考える方、挙手をお願いします、挙手多数により「終了」として整理する。

(3) 備北観光ネットワーク協議会負担金 資料5 ～ 資料6

－ 事務局より資料5について説明 －

【②現行どおり】の意見

評価シート記載意見

庄原市及び備北地域のPRを行い、広域的観光振興を図る目的として、協議会の設置・運営は必要と思われる。そうした中で、現行の事業内容やそれに伴う人件費等については、より、効率的に実施することの検討は必要であると思われるが、基本的には現行のような内容で継続していく必要がある。

委員：私の地域でも「備北のかがやき」をPRに活用させていただいている。人件費がかなりの割合を占めているということで、支出の中身を見ると現行どおりといいながら精査し検討していく必要があると考えるため、その他の見直しに近い現行どおりということで理解していただきたい。

【⑤縮小】の意見

評価シート記載意見

広域的な観光推進を図る事業目的に照らし合わせて、課題はあるように感じます。(イベント交互開催、事業費と人件費の状況等) 所管課が評価しておられるように、運営形態を改善する視点で見直しをお願いしたいと思います。評価分布の選択で困ったのですが、「拡充」、「現行どおり」「終了」ではないので、「縮小」を選択しました。

委員：評価シート記載のとおり。

【③終了】の意見

評価シート記載意見

協議会運営費に人権費に占める割合が大きいため、事業費の割には両市にとって効果が薄い事業と考える。むしろ、両市観光協会の中で連携をとって取り組む事業であると思う。

委員：評価シート記載のとおり。

【①その他の見直し】の意見

評価シート記載意見

三次市との観光ネットワークは重要だと思うが、当ネットワーク協議会への事業費の支出金額の割には内容が見えない。事務局の場所や観光協会の中で事業が行えないか等検討が必要だと思う。

委員：酔い処まつりに時々行かせていただくが、よく賑わっていると思うので、事業とすればいいのではないかと考えている。

【④その他の見直し】の意見

評価シート記載意見

「備北のかがやき」は良い冊子で、事業も良い企画だと思いました。近年 各県の各地域でイベントが行われており、その中から三次庄原へ来てもらうのは非常に難しいと思います。実施から10年経過し、三次庄原両市で今後の事業のあり方、今後の方向性を検討する時期だと思っています。人件費抑制など運営形態の改善も、両市が同意見でないと感じています。

委員：庄原と三次の事業なので、庄原だけの意向というのは難しいので、このような意見になった。どこも頑張っておられるので、いいイベントでもなかなか人を呼ぶのは難しい。

【⑥その他の見直し】の意見

評価シート記載意見

庄原・三次両市が連携して、地域情報を発信して来訪者の周遊を促す・・・という事業の方向自体は、必要かつ有効と考えます。雇用形態や事業内容については、貴重な予算を最大限に活かしつつ、現場スタッフに無理がかからないよう、見直していただきたい。備北地域がますます輝くような、事業内容を期待します。

委員：評価シート記載のとおり。

【⑦その他の見直し】の意見

評価シート記載意見

広域での観光客誘致は今までそれなりに市民の理解は得られていると思う。ただ、イベントが両市で交互に開催されていることから事務局は両市の観光協会の持ち回りはどうでしょうか。

委員：評価シート記載のとおり。

－その他意見－

委員：事務局員が三次市の再任用職員が1名とパートが1名と説明があったが、パートの1名は三次市の人か。

事務局：三次市在住の方である。

委員：私は、この広報紙かがやきに広告掲載をさせていただく立場にあるが、5年くらい前からずっとみているが、5年前はもっと情報の量に偏りがあって、三次の情報が多かった。三次の方が多いということで声をあげさせていただいて、今は半々くらいになっていると思うが、その点も問題であると感じたことがある。

委員：事務局職員が2名とも三次市の方であるが公募があったのか。

事務局：公募はなかった。

委員：庄原市と三次市が400万円ずつの負担金となっているが、県の補助金をもらうためにこのような形になっているのか。また、この補助金は例えば庄原市であれば、庄原の観光協会へ支出し観光協会を通じて協議会へ支出しているのか。

事務局：この負担金は市から直接、協議会へ支出している。

委員：観光協会は協議会への負担金や事業は把握していないということか。連携はとれているのか。

事務局：構成員に両市の観光協会が入っている。

委員：観光協会の1事業だと思うので、これを別枠で支出し、三次市在住の事務局員を2人雇用して運営するのはいかがかと考え、終了とした。

事務局：庄原市、三次市が独自で取り組んでいるが、都市部の住民からすると庄原も三次も同じで備北というエリアで連携して取り組むということで、県からも補助金をいただいております、その意味でも連携は必要と考える。

委員：同じような負担金を負担するのではあれば、同じような恩恵があってもいいと思う。人件費についても庄原市の雇用があってもいいのではないかと思う。また、広告の件数は庄原市と三次市で同じくらいの数か。

事務局：広告費をいただいているので、事務局からアプローチしても協賛いただけるかということがあり、結果として三次市が多いと思う。

－総括意見－

委員長：本事業の評価は、「その他の見直し」として総括する。

5. その他

委員長：次回の会議は、平成 29 年 11 月 7 日午後 1 時 30 分から行う。

6. 閉 会